

# 目指せ1.5億円！東美濃クリ販売額の増加

第4期産地計画「東美濃クリ地産地消(商)拡大計画 Reborn! 生まれ変わる東美濃クリ産地へ」に取り組んでいるが、生産者数は減少傾向である。今後も産地を維持していくためには、新たな生産者の確保が急務となっている。

## 活動内容

- ①: プロジェクトチームにて、これまでの取り組み情報の共有と、今後の取り組み内容の絞り込みを行った。
- ②: 園地流動化を推進するため、相談活動を実施した。
- ③: 経営継承システム構築のため、モデル地区を対象に10年後の経営状況に関するアンケートを実施した。



プロジェクトチームによる検討

## 成果

- ①: 協議会員数は、目標:274名対し142名(出荷者)。新規会員確保は容易ではなく、既存生産者の出荷量増加に向けた取り組みを新たに始めることとなった。出荷量が増えない原因として、6月下旬から発生するネスジキノカワガの被害が一因の可能性が示唆された。
- ②: クリ園の出し手相談件数は3件。うち1件は協議会員の受け手につながった。今後も相談は増加すると推測されるが、可能な限り協議会員のクリ園は協議会員へ引き継がれるよう、園地情報は協議会優先で提供することを役員会で了承された。  
また、クリ園の出し手の希望条件と受け手の条件に差が大きい事例があり、評価方法など課題が残った。
- ③: アンケート結果に基づき、10年後の作付見込みと経営継承の可能性を取りまとめた。現状では継承希望はなく、取り組み紹介にとどまった。

今後も、協議会員の出荷量向上を目指し、基本的な技術の取り組み状況、栽培履歴に基づいた適正な施肥、病害虫防除を推進し、販売額1.5億円を目指した活動を行う。